

役員の紹介	氏名	卒業年/学科期	現在の勤務先	備考
会長	長浜 啓一	S48/M5	(株)KANAYA	シニアフェロー 富山高専技術振興会理事
副会長	打出 孝彦	S53/C10	北日本電機産業(株)	シニアフェロー 富山高専技術振興会会員
	上田 一人	S58/M15	(株)Eアル	シニアフェロー 富山高専技術振興会会員
常任理事	栗原 貞雄	S48/E5	(株)シードシステムズ	シニアフェロー 富山高専技術振興会会員
	藤田 正良	S52/E9		シニアフェロー
	金井 毅俊	S53/K5	富山市議会議員	
	一谷 雅幸	S54/M11	(株)コラビエット	シニアフェロー 富山高専技術振興会会員
	岡崎 信也	S56/E13	富山県議会議員	富山高専技術振興会会員
	鋪田 博紀	S59/K11	富山市議会議員	富山高専技術振興会会員
	種部 元仁	S63/E20	(株)北陸経営	シニアフェロー 富山高専技術振興会会員
関東支部長	長谷 治男	S44/M1		
監事	浜下 朝夫	S44/M1	富山高等専門学校	特任教授、コーディネーター 非常勤講師、シニアフェロー
	竹中 直志	S45/E2	丸栄運輸機工(株)	
学校窓口	増山 圭一	S62/M19	富山高等専門学校	機械システム科 准教授

事務局からのお知らせ

1 新しいHPとEメールになりました

新しいアドレスは下記のとおりです。
ホームページ：<https://hongokai.sakura.ne.jp/>
メールアドレス：toyama@hongokai.sakura.ne.jp
ホームページの閲覧は、パスワード不要です。

2 クラス会、OB会の原稿を募集しています

投稿頂いた団体には、従来通り助成金をお送り致します。
原稿は、ほんごう会メールへ送信してください。

3 会報誌について

2020年度の会報誌 (No.24) は郵送しますが、2021年度以降は、ホームページ上のみの閲覧になります。

4 卒業生だより

卒業生皆さんの近況や職場を、会報またはホームページにて順次ご紹介致します。

5 同窓会名簿の販売について

継続して、5年毎に制作し販売致します。
従来通り、購入希望者宛に代金と引き換えに送付致します。会員の異動情報は、名簿に添付のはがき又はほんごう会メールでお知らせください。
メールアドレス：toyama@hongokai.sakura.ne.jp

6 令和3年度の行事予定

ほんごう会の行事は以下を計画しています。
・常任理事会：6月中旬 ・定期総会：11月上旬
※学校行事の予定、結果は、富山高等専門学校のホームページをご覧ください。



学生時代に培った人間力を生かして

株式会社イータウン 代表取締役 齋藤 保 (K15)
神奈川県横浜市港南区港南台4-17-22 <https://www.e-etown.com/>



デザイン&
発行会社紹介

卒業してから33年が経とうとしています。
在学中より進路については、先生方はかなりご心配・ご迷惑をかけた学生であり、卒業するやいなや2年間の社会勉強という言い訳のニュージーランドでの海外放浪を行いました。帰国後は(財)富山YMCAで青少年教育や地域活動ディレクターを務めた後、2002年に横浜市で起業。地域情報



サイトの企画運営やデザイン事業を行い、2005年からは「cafeからはじまるおもしろまちづくり」をキャッチフレーズに、地元商店会やNPOとの連携で「港南台タウンカフェ」というコミュニティカフェを運営。現在は、コミュニティカ

フェ・ソーシャルビジネス支援事業プロデューサーとして横浜のみならず全国各地の「コミュニティカフェ」の運営支援や、地域プロデューサーとなる「cafe マイスター」の人材発掘育成事業を展開。昨年には「コミュニティカフェ」(学芸出版社)を出版させていただきました。

学生時代に専攻した金属工学の知識や技術を活かすことはできませんでしたが、諸先輩方や部活動、同窓の仲間、そして先生方との関係で培った人間力が生かされていることに感謝しております。

また、今回、このような会報誌のデザイン編集の機会をいただき、改めて学生時代の5年間を振り返り、自身の生き方や学びについて考えることができ嬉しく思っています。

編集後記

令和2年度は、新型コロナウイルスによる混乱の年でした。しかし、「ほんごう会」でも6月の常任理事会で役員の一新が行われた激動の年でした。前石山会長におかれましては、約40数年間「ほんごう会」の発展にご尽力頂きましたこと厚くお礼申し上げます。今後は、長浜新会長のもと新役員と共に「ほんごう会」の継続した活性化、学校への支援、統合同窓会や北斗会との協力と交流に取り組んでいくため、会員皆様の支援を宜しくお願い致します。

新役員が決まり、新しいホームページを立ち上げ、会報配布と短期間で何とか準備できましたのは、幸運と思っています。しかし、まだまだ課題が残っていますので、順番に対応していきます。

さて、私の住んでいる朝日町では4月の「舟川春の四重奏」に向けて、例年より早めの実行委員会が開催されました。昨年は、期間中に判明した新型コロナ騒ぎで、大渋滞が発生し地元住民が大変な迷惑を被りました。地元としては、沢山の観光客に来て見て楽しんで頂きたいと思っていますが、ちょうど農作業時期と重なるため、昨年の二の舞は勘弁という思いです。富山県の一番東側に位置していますが、是非とも皆さんに一度は見に来て頂きたいと願っています。

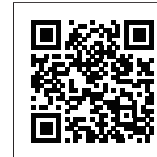
藤田 正良 (E9)

ほんごう会 事務局

藤田 正良・種部 元仁

HP <https://hongokai.sakura.ne.jp/>
Eメール toyama@hongokai.sakura.ne.jp

ホームページの閲覧は、パスワード不要になりました。



2020年度

2 会長あいさつ

3 副会長あいさつ

4 卒業生だより

5 役員紹介

事務局からのお知らせ

6 デザイン&発行会社の紹介

わかたけ会だより

編集後記

Since 1969

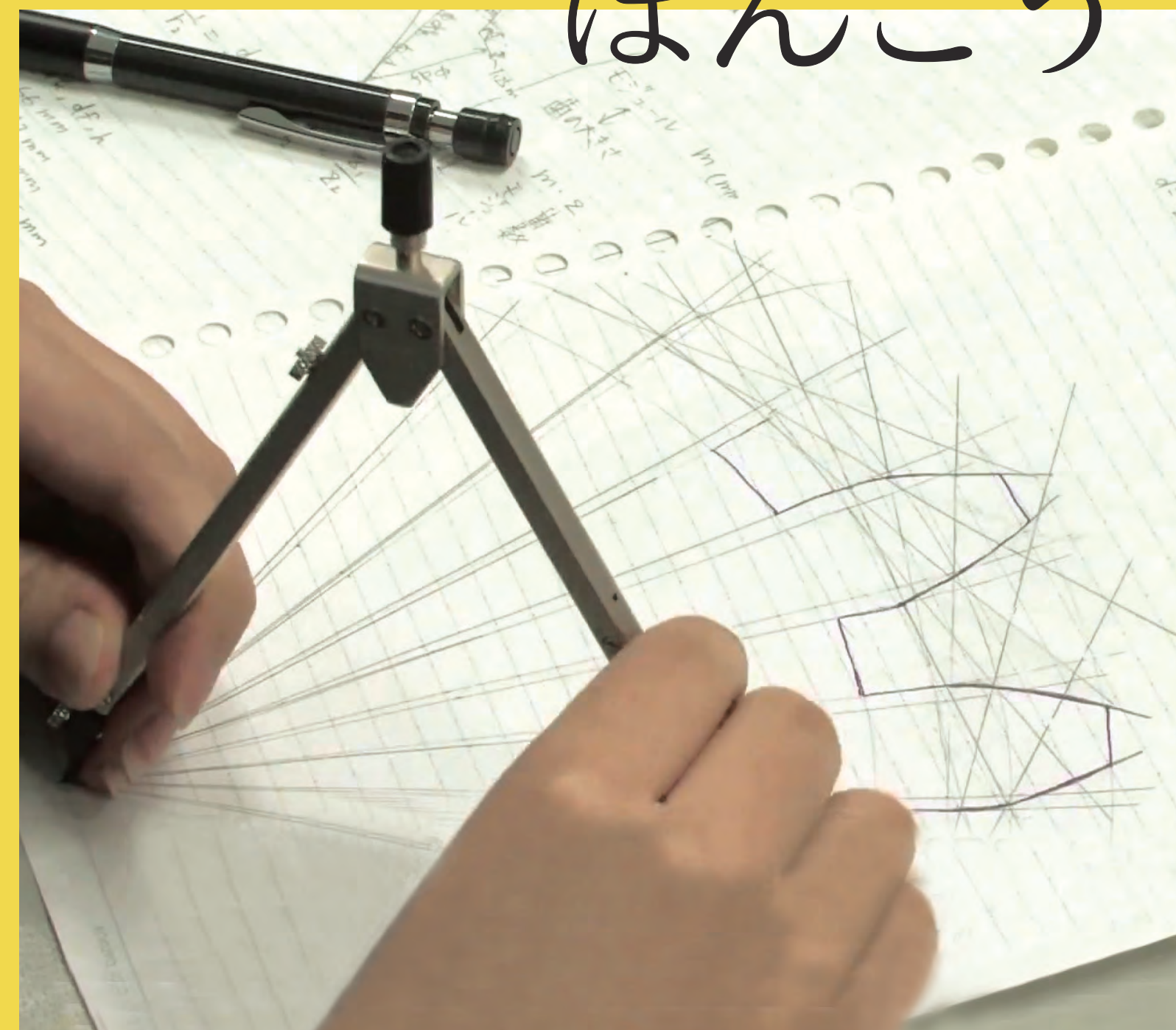
To the future

VOL

24

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

ほんごう



ほんごう会員の皆様にはご清栄のことと存じます。

令和 2 年 6 月度の理事総会において、石山会長、並びに常任理事、役員の内任が決定し、新たに、〔ほんごう会〕の会長に選任されました機械工学科 5 回生の長浜啓一です。

前石山会長には長きに渡り会長として〔ほんごう会〕の発展のため、運営をされました事深く感謝致します。

平成 21 年 10 月において、富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校が統合され富山高専専門学校（スーパー高専）となりました。

この統合に伴い〔ほんごう会〕と〔北斗会〕が一緒になり同じ同窓会として活動をしてほしいとの学校から要請があり、両同窓会として〔富山高専統合同窓会〕を立ち上げました。（当時 米田校長）統合同窓会の会長は各年でほんごう会と北斗会の会長が務め、理事は各会より若干名の選出を行い運営して来しました。

統合同窓会の活動は、学校行事（入学式、卒業式等）の場合のみの活動を主として、他の活動は従前通り本郷キャンパスでは（ほんごう会）が、射水キャンパスでは（北斗会）が行い、卒業生もキャンパス事にそれぞれの会に入会をしておりました。したがって、統合同窓会は学校側へのパフォーマンス的な位置づけとなり実質統合された同窓会としての活動をしているとは言えませんでした。

平成 31 年には両高専が統合され 10 年を迎え高等専門学校としての卒業生も 1,000 名を超えました。

学校側からの同窓会統合に対して強い要請と前会長の高専制度に関する考え方と学校側の高専制度に関する考え方、方向付けの相違による今までの活動に対して学校側との確執が大きくなり学校主導による富山高専専門学校卒業生（スーパー高専卒業生）を対象とした富山高専同窓会の発足となりました。

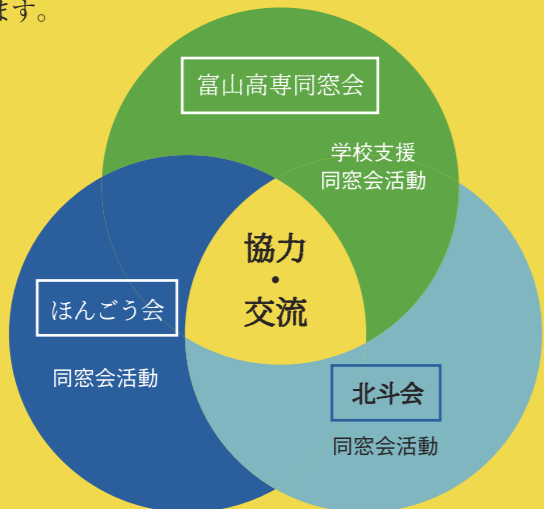
ほんごう会としては、役員の一新を行い、学校や北斗会との関係改善、強化を図るとともに、富山高専同窓会と連携を行い富山高専の発展に寄与することになりました。

会員の皆様には、積極的な同窓会への活動参加をお願い致します。

最後に、ほんごう会員の皆様のご健勝を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。



Keiichi Nagahama



Since 1969

2020

To the future



長浜 啓一

富山高専ほんごう会会長

新しいほんごう会に向けて

打出 孝彦

富山高専ほんごう会副会長

橋渡しのためにやれることを

若い人達が参加しやすい活動に

上田 一人

Kazuto Ueda

富山高専ほんごう会副会長



令和 2 年 6 月 27 日の理事会総会で、ほんごう会副会長を拝命いたしました。現在の富山高専専門学校（スーパー高専）は、11 年前に富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校が統合されて出来ました。学校としては統合されましたが、同窓会については、旧工業高専（ほんごう会）と旧商船高専（北斗会）が別々に活動してきました。

形式上統合同窓会は有りましたが、機能していませんでした。その後、学校、ほんごう会、北斗会で、同窓会前会長と学校側との高専制度などの意見の対立からほんごう会、北斗会が学校の設立した新同窓会に入ることが出来なくなりました。

私は工業高専を昭和 53 年に卒業後、大学に編入学してから、現在の YKK に入社し、海外事業部社員として、約 10 年間海外勤務しました。



Takahiko Uchiide

工業高専同窓会であるほんごう会への関わりは、平成 7 年に海外から帰国して、父親が創業した会社に転職してから、年一回の同窓会総会である大ほんごう会への参加がきっかけで、ほんごう会の常任理事になり、約 20 年間同窓会のお世話をしてきました。

現在は、ほんごう会とスーパー高専との橋渡しの為、新富山高専同窓会の理事会に理事としてオブザーバー参加しています。今後、富山高専同窓会として、スーパー高専、旧工業高専、旧商船高専が一つの同窓会に成れるように、長浜会長、上田副会長及び常任理事の方々と力を合わせて、全力で当たりたいと思います。

同窓生の皆様方には、富山高専卒業生として、富山高専を今後もサポートしてもらえれば幸いです。今後とも宜しくお願いします。



卒業生だより



ダメ学生でも社長になれる…かも

アイシン・メタルテック株式会社 代表取締役社長 岩井 宏行 (M20)
富山県下新川郡入善町福島615番地 http://www.aisin-metaltech.jp/



ありきたりの書き出しだが、本郷の学び舎を出て早 33 年が経った。がむしゃらに走った 33 年だったし、今もまだその渦中にある。
当時は思い起こすと私は少し斜に構え世の中をなめた若者だったかもしれない。実は今でいう就活が希望通りいかなかった。成績も良くないのに当時からの世界に冠たるトップ企業を受け、当然落ち、系列の地元企業に落ち着いた。元来ひねくれ者の私は地元企業も 1 番人気は避けて就活した。野球でもジャイアンツが嫌い。バイクもホンダが嫌い（今はその反動でホンダバイクオーナー）そんな若者だった。勘違いしていた私は、自分は〇〇を受けたのだから地方の部品会社なんか社長になってやる。と根拠なき戯言を言っていた。会社は当時 1000 人を切るくらいの規模の会社だったが、巨大グループの 1 社で、現在でいうと全世界で従業員 12 万人、国内外 208 社で社長はグループの親会社から赴任しており、役員も半数以上そうであった。社長など雲の上の話である。

私は社長ウヌンはとっくに忘れ、新製品準備や量産ライン改善を行う生産技術で自分が納得いくまで仕事した。いい時代だった。会社が不利になったり、負けそうになったりする事がとにかく嫌だった。上司や同僚からも疎まれた事もあった。だけどそうした事が平気な事を私は理解できなかった。だからいつも火中だった。それを続けていたらいつの間にか社長になっていた。友人からの投稿依頼で何を書こうかと思いついた社長室の窓から雪を眺めていたら、そういや昔は「社長になってやる」と言っていた事を思い出し、ちょっと青い気持ちになった。
今、思うと高専では今と逆で逃げてばかりいる学生だった。その時の失敗が半面教師になっていると思う。仕事に没頭しがちな私を支えてくれる妻にも恵まれた。自分だけでってべんに立ったわけではない。
自動車業界は大変革期にあり、本郷魂と周りへの感謝の気持ちを常に持ち続け乗り越えていきたい。



夢が自分を動かす原動力

株式会社NFA R&D 代表取締役社長 渡辺 亮介 (M35)
富山県富山市横内163-4 https://www.nfa-es.co.jp/nfard/



■ 会社紹介
弊社は富山県富山市に拠点を置く、FA 装置専門メーカーになります。一言でFA装置と言っても色々なものがあります。例えば、弊社一番の主力はカメラを用いた画像処理装置になります。これは人の目をカメラに置き換えて、生産されている製品の良品 / 不良品を自動的に判別するものです。ただ、カメラだけでは装置として成り立ちません。製品を搬送する構造、製品をストックする構造、安全構造…お客様の仕様によって色々な構造が組み合わさることではじめて装置となります。これら全てを一貫して設計・開発・製造をおこなえるのが弊社の強みになります。従来の FA は単純に人手がかかっている作業を機械に置き換えることが最も大きな要素でした。しかし、現在はそれに加え、いかに作業を均一化させるか、という部分が品質に大きく影響するという認識が変わっています（誰が作業をしても同じ品質）。Made in Japan の品質は世界が認める最高レベル、それを継続するために常に未来を見据えて、変化に対応し、取り組むことが重要と考え、日々奮闘しております。
■ 高専での思い出
高専での生活を総評すれば「楽しかった」の一言に尽きます。

ただ、卒業して 17、8 年ともなると悪かった思い出は脳内から抹消され、楽しかった事だけが鮮明に思い出されるようになるからだと思います。「辛かった」ことを意識的に思い出すと、やはり 1 番は勉強、実習になるでしょう。授業時間が長く、レポート、課題など、日々取り組むものが多く、単位を「取る」のではなく、単位を「落とさない」事に必死だったように感じます。
■ 就職してから今日までのこと
起業前はテレビや DVD のリモコン、コピー機など身の回りで馴染みのあるものの設計・開発に携わって来ました。普段何気なく使っている身近なものにも、生みの苦しみがある事を知り、これが逆に新しいものを生み出す力になっていきました。それが今の自分の中にしっかりと根付いているのではないかと思います。
■ 若い世代に期待すること
まず、必ず「夢」を持って下さい。それが自分を動かす原動力になります。そして、決して「自分のためだけ」の大人にならないで下さい。学業、仕事、私事どれも同じです。必ず別の誰かがそこに存在している事を忘れて下さい。その 2 点を忘れず、どうか自分の成すことにプライドを持って、密度の濃い日々を送ってもらいたいと思います。